

上級英語B		講義	准教授 鈴木 穰
科目カテゴリー	経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23200302

1. 授業のねらい・概要

必修英語・選択英語を学習後、総仕上げとして英語学習を追求したい学生のための講座。語学検定試験の合格、読解力や会話力の向上など受講生がそれぞれの目標を持ち、今の自分のレベルを上げていく事を望む。特に一年次・二年次アドバンスコースで学習した学生へ引き続きの履修を求める。

2. 授業の進め方

大学入学後二・三年経過し、英語に対する意識は高まり、能力は向上したはずである。「語学検定対策講座」では試験合格を強く意識させた。しかし、この講座では実用的な英語を習得し、英語の世界に楽しさを見出せるように興味深い話題を取り上げ、さらに視聴覚教材を用いる。

3. 授業計画

1. Introduction	9. Pepsi—Ask for More
2. Meijer— Higher Standard, Lower Prices	10. United Nations Development Programme
3. A Call for a Bud Light	11. Disney—Magic Happens
4. Anti-Discrimination Campaign	12. Coca-Cola—For Everyone
5. McDonald's—A King of Fast-Food Restaurants	13. Anti-Smoking Campaign
6. BMW—A Car beyond the Reason	14. Counterfeit Mini Coopers
7. Banking for the Filthy Rich	15. Hallmark of a Teacher
8. Learning Languages	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回の授業内容の復習や宿題を行い、内容の理解や語彙力の向上に努めること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小テストの解答は、授業中に解説する。最終試験実施の後、解答を提示版に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

受講生それぞれが最初に設定した目標を達成することを常に意識させる。そして、頻繁に達成度合いを確認していく。

7. 成績評価の方法・基準

授業の参加度(30%)、小テスト(20%)、最終試験(50%)の結果によって判断する。

8. テキスト・参考文献

English in 30 Seconds (NANUN・DO)

9. 受講上の留意事項

現在の自分のレベルを上げるために努力すること。辞書を持参すること。

アドバンスコースを履修していなかった学生は、事前に担当講師へ申し出ること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。